

# 2021AJCC設定課題 撮影マニュアル

## はじめに

課題をしっかりと読みましょう  
撮影に必要な備品を用意しましょう  
制限時間を守りましょう

実技コンテストのため、撮影前にしっかりと  
「設定データ」等情報を読み込んだ上で「設定課題」に  
対しての「練習」「予行演習」を行ってから撮影に臨みましょう

## 撮影時の環境設定

- ・カメラはスマートフォンを使用してください。
- ・撮影時の設定は「なるべく小データで長時間撮影できる設定」に  
合わせてください。  
(推奨設定は
  - ・androidの場合1080p/30fps/mp4
  - ・iPhoneの場合1080p/30fps/movですが、設定が困難な場合はご自身のわかる設定で収録いただいて構いません。  
ただし、収録できる残り時間が15分以上になっている状態で撮影してください)
- ・必ず、三脚に立てて使用してください。**手持ち撮影は禁止です。**  
**三脚は各自ご用意ください。**  
※ただし、「認知症」分野において、高齢者役の動きがある場合は、手持ち撮影を行なって構いません。



大型三脚、卓上三脚等種類は問いませんが  
「演技者両名の視線より10cmほど高い位置」から撮影できる高さを担保してください。

- ・1撮影につき、3人(選手、高齢者役、撮影担当者)で行ってください。
- ・コンテストのため、編集は禁止です。
- ・カメラのバッテリーは50%以上あることを確認してください。
- ・静かな環境を用意してください。  
撮影時には、部屋の扉に「ただいま撮影中」と張り紙をしておくことを推奨します。  
(近い時間にチャイムが鳴らない。電話を切っておく。車道から離れた部屋で行う)
- ・実技(10分以内)から感想(3分)まで、一連で撮影を行ってください。
- ・原則撮影は1台のみですが、各自設定課題に対する判断で2台目設定を可とします。

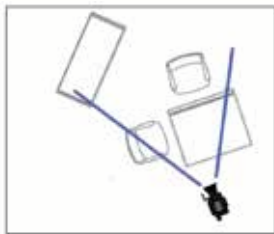
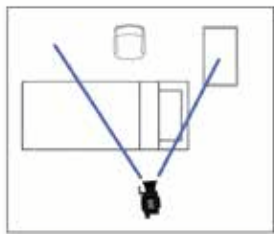
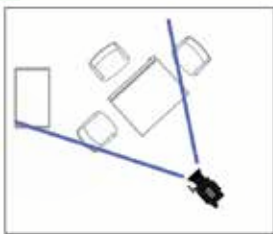
どの分野であっても、ポイントは

- ・実技を行なっている選手・高齢者役、両名の表情が見える位置
- ・両名の視線よりも若干(10cm程度)高い位置
- ・静かな環境(スマホが音声を拾える環境)
- ・カメラが水平になっていること

を確認してください。

各分野設定課題を読み込み、適切なカメラ位置についてご考慮ください。

■撮影範囲：演技する方 両人の表情、手元が見えるように



ポイント

卓上三脚は必ず「備品テーブル」とは別の台座に乗せてください。  
実技用のテーブルに乗せると構図が狭まり、また画面が揺れます。  
三脚が乗る広さがあり、テーブル高が90cm～120cmある高さの台を用意して演技者を写してください。



(過去のケアコンテストより抜粋)

## 撮影例1

- ・選手・高齢者役よりも若干高い位置から撮影していること。
- ・カメラが固定されて、その画角内で実技していること。
- ・選手の表情が画面中央にはいって、かつ不必要に広い絵になっていないこと。
- ・カメラの傾きが地面に対して水平になっていること。
- ・不必要な備品(花瓶やゴミ箱など)が画面内に入っていないこと。



(過去のケアコンテストより抜粋)

## 撮影例2

- ・選手・高齢者役の視線よりも若干高い位置から撮影していること。
- ・選手・高齢者役とカメラに間に邪魔な被写体が入っていないこと。
- ・テーブル上は実技に必要な備品以外配置していないこと。
- ・音声が綺麗に拾える場所で撮影すること  
(左の画像ではマイクを使用していますが、マイクは必要ありません)
- ・選手・高齢者役が画面中央に入っていること。

### 三脚の使い方



ネジ類はしっかり締めて固定します。  
特に携帯の根本は注意しましょう。

カメラは横位置で撮影してください。



足は大きく広げ、安定する様に配置してください。  
狭く高くなる様に使用すると、落下、破損の危険があります。



### 演技役割



#### ■選手

課題に応じたケアを行う介護者です。  
撮影時は実技に集中してください。  
また、実技後は感想を述べてください。



#### ■高齢者役

選手のケアを受ける高齢者を演じるサブプレイヤーです。設定データをよく読み、設定通りの演技を行ってください。



#### ■撮影担当者

選手、高齢者役がしっかり実技に集中できる様、カメラ設定やタイムキープを行ってください。

## 時間軸によるマニュアル

### 撮影開始前

選手、高齢者役が定位置に付きます。  
撮影担当者は前ページのマニュアルに従い「構図が正しいか」「無駄なものが映っていないか」「周囲は静かになっているか」を確認した上で、録画ボタンを押します。

撮影担当者が録画ボタンを押して3秒経ったら（録画開始していることを確認したら）、手を上げて選手に合図をしてください。

### 撮影開始 0:00

選手はカメラに向かって「●●（法人名）、●●所（事業所名）、●●（名前）、●●分野、●●区分の実技を始めます」と発声してください。

**この発声をもって、演技開始とします。**

撮影担当者は決してカメラに触らず、カメラが録画状態になっていることを確認の上、時間を確認してください。

5分経過したら撮影担当者は「残り5分」の合図を送ってください。  
手を上げる、紙に書いて知らせるなど方法は自由です。  
選手にわかりやすい合図を出してください。

9分経過したら、撮影担当者は「残り1分」の合図を送ってください。

10分経過したら、撮影担当者は「終了時間」の合図を送ってください。  
※実技は10分以内です。早めに終了しても構いませんが、超過することはできません。

実技が終了したら、選手はカメラに向かって「以上で実技を終了します」と発声してください。

### 実技終了 約10:00

**ここで録画を止めないでください。**カメラには触らないでください。

### 感想開始 10:00~

そのまま、選手はカメラ中央に来て、カメラに向かってコメントを述べてください。

### 感想終了 ~約13:00

選手が「以上で、●●（法人名）、●●所（事業所名）、●●（名前）、●●分野、●●区分の課題撮影を終了します」と発声し、**発声3秒後に**

撮影担当者が録画ボタンを押して終了します。

（ボタンを押す際にカメラがぶれてもかまいません）